

創世記－全てのはじまり

バプテスマ

これまで間を挟みながらですが2年半かけて創世記を見てきましたが、今日はここまでの歩みを振り返ってみたいと思います。創世記のメッセージははじまりのメッセージです。すべてのはじまりです。それはこの世のはじまりであり、罪のはじまりであり、そして何より重要なのは神の救いのご計画のはじまりでした。創世記は神がそのみ言葉の中で私たちに明らかにされた全てのことの土台となるものです。何より重要なのは、創世記は神がどのような方なのか、そしてご自分の民に対する愛と、私たちが贖いご自分のもとに引き戻したいという願いをそこに示されているということです。ですから、他の全ての聖書箇所と同様に、創世記に描かれる神に出会うことは私たちが礼拝へと導きます。そして、聖書のこの最初の部分にイエスのお名前こそありませんが、イエスのメッセージは明確に示されています。それは、創世記に犠牲の姿、赦しのメッセージ、後にキリストが世に来られることにつながるご自分の民への愛の心が描かれているからです。このメッセージこそ、今日の賛美の最初の曲で歌われているメッセージです。お立ち下さいまして共に「永遠に賛美する」をご一緒に歌いましょう。

Song 「Endless Praises/ 永遠に賛美する」

Deacon Prayer

創世記はこの世のはじまりからはじまります。創世記の、そして聖書全体の一番初め、創世記 1:1 には「はじめに神が天と地を創造された。」とあります。神が創造されたというこの宣言の後、この世を創造するキャンバスが形作られた後にどのようにその創造の御業がなされたのかを私たちは見ました。最初に一週間でそのキャンバスに神は全ての生命を創造されました。それは現在の私たちの人生を形作っている時間のはじまりでした。そして更に重要な事に、神は私たちがこの地上での人生を日々どのように過ごすべきかのパターンを与えてくださいました。神は創造のために6日間働かれ、その後1日休まりました。この労働と休息のパターンは後に出エジプト 20:8-10a で神の民に与えられた律法を中心である十戒の一つとして命じられたものです。「8.安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。9.六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。10.七日目は、あなたの神、主の安息である。」

創造の物語の中心にあるのは6日目に人が創造されたことです。創世記 1:27 は「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」と述べています。人が罪により墮落する前の最初の段階で、この二人の最初の人の創造は、私たちの存在のある種基本的な側面を確立しました。まず、結婚という制度が確立されました。創世記 2:23-24 はこう述べています。「23.人は言った。「これこそ、ついに私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。男から取られたのだから。」24.それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」ですから、結婚や家族が人間社会の基盤であるという考えは、人ではなく神ご自身が作られたものです。次に、アダムとエバの創造はジェンダーとセクシュアリティについての基礎的な事実を示しており、それは今日でも極めて重要な意味を持っています。聖書、つまり聖書の事実上の著者である神は、人が男と女という二つの性を持って存在し、その両方の性が神ご自身の姿を反映するようにされたのは神であると述べておられます。このことは、私たちが自分たち自身を理解する鍵となります。元々私たちは神の完全な似姿に造られました。神なしに私たちは存在することが出来ず、その存在そのものが神のおかげなのですが、私たちは神ご自身を反映するものであったのです。

私たちが主権者であられる神によって創造されたということは、私たちがこの世で最高の存在であるということではありません。私たちが自分たちに対して主権者なのではなく、私たちが創造された方に恩義があるのです。イザヤ 43:6-7 はこのように述べています。「わたしの息子たちを遠くから来させ、娘たちを地の果てから来させよ。7. わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。」私たちが自分たちの栄光のた

めではなく、神の栄光のために造られたのですから、私たちの生活は神の栄光を反映するべきです。神を礼拝すべきです。もちろん最初の人たちは罪を犯し、神に従わなかったので、神に栄光を帰すことができませんでした。そして、その罪に対する神の対応からも、主権者である神に造られた存在であるということが、私たちは自分の行動に責任があることを意味しているのだということが分かります。創世記の最初の部分は、聖なる神の前に人間が説明責任を持っていることを示す二つの出来事で締めくくられています。創世記 7:23-24 は神が地上にもたらした世界的大洪水の結果を記しています。「23. こうして、主は地の上の生けるものすべてを、人をはじめ、動物、這うもの、空の鳥に至るまで消し去られた。それらは地から消し去られ、ただノアと、彼とともに箱舟にいたものたちだけが残った。24. 水は百五十日間、地の上に増し続けた。」

なぜこのような大洪水が起こり、ノアとその家族以外の全ての人々が滅ぼされたのでしょうか。創世記 6:5-7 にはこのようにあります。「5. 主は、地上に人の悪が増大し、その心に凶ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。6. それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。7. そして主は言われた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜や這うもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを悔やむ。」」もちろんこれで罪がなくなったわけではありませんでした。創世記のこの最初の部分はバベルの塔と神に届くことができると考えた人間の傲慢さについて書かれた創世記 11 章で終わります。神は人間の反抗が主権者である神の前に無意味であることを示し、言語の混乱を通して地に満ちよというご自身の命令に人間を従わせました。つまり天地創造とは私たちの生活における 2 つの主要な点が真実であることを示しています。私たちは神をあがめ、神に栄光を帰すために造られました。そして聖なる神に対して説明責任を負っています。その真理に対する応答ゆえに、他の被造物とともに創造主を礼拝するべきです。お立ち下さいまして、共に声を併せて「創られしものよ」を賛美いたしましょう。

Song 「All Creatures of our God and King / 創られしものよ」

最初にお話ししましたように、創世記は人類のはじまりだけでなく、人類の基本的な問題である罪のはじまりも描かれています。人間として皆が体験する誘惑という概念と、その誘惑の源であるサタンが出てきました。神は最初の人であったアダムとエバに、善悪の知識の木からとって食べてはならないという一つの命令を与えました。すると蛇の姿をしたサタンがエバを誘惑したのです。その誘惑とは罪への全ての誘惑と同じような誘惑でした。創世記 3:1 「蛇は女に言った。「園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。」」蛇は彼女に神の言葉の真理を疑わせました。創世記 3:4-5 で蛇はエバに、神が言われたことに反して「あなたがたは決して死にません。5. それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神ようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」と言いました。彼女もアダムもその誘惑に負けて罪を犯してしまいます。アダムは全ての人々の代表する者だったので、その罪のために全ての人に罪の性質が引き継がれました。ローマ人への手紙 5:12 はこのことを明確に示しています。「こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——」

つまり、罪のために死が始まったことを創世記は示しており、それはまた私たち人間が経験することを定めています。ですが、創世記から始まる神の物語にはもう一つの筋書きがあります。それは贖いを基盤とする希望の物語です。この贖いの筋書きは、聖書の残りの部分を通して明らかにされているものです。聖書の物語の大きな流れは、創造、墮落、贖い、回復です。創世記には最初の 2 つと 3 つ目ののはじまりが完全に含まれていて、ヨハネの黙示録で初めて完全に示される回復を指し示しています。人間が罪を犯した直後、神はその罪に対して罰をお与えになりますが、罰を与えることによってご自分の罪深い被造物に最初の希望の兆しを与えられました。創世記 3:15 で神は蛇の姿であるサタンを罰すると約束された上で、私たちに次のような希望の言葉を与えてくださいます。「わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」神は、私たちが罪に陥れた張本人を倒し人々を祝福する、蛇を打ち砕く者を遣わされます。この救い主、蛇を打ち砕く者に関する最初の預言の中に、私たちに与えられた重要な情報

があります。それは、サタンが欺いたエバの血筋から救い主が生まれるということです。救いを与えるのは人間だということです。

創世記の12章では、この救い主である蛇を砕く者を世に誕生させるため神が選ばれた人が紹介されます。アブラハムあるいはアブラムは創世記12:1-3で、神から一方的な契約を与られました。

「1.主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2.そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。3.わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」」この土地、国民、祝福という3つの約束は息子のイサク、孫のヤコブに引き継がれ、やがてイエスをこの世に誕生させる家族へととなります。そしてこの家族の各世代は、神が自分たちを用いて全世界を祝福するという約束を大切にしました。この家系からもたらされる祝福の約束は、この家族にとって希望の源となっただけでなく、時代と共に益々深く罪に陥っていくこの世にとっても希望の源であり続けます。アダムとエバの息子が最初の殺人を犯したときから、ヤコブの息子たちが弟のヨセフを奴隷として売り飛ばし、大量殺人を犯し、不道德な行いに走り、と罪が深まっていることを見してきました。そして、人間がいかに罪深い生き物であることを示し続ける物語の中で、神はこのアブラハムという人物とその家族を通して、贖いの物語、希望の物語を記されました。それはアブラハムの子孫であるイエス・キリストを通して、今日の私たちにも与えられている希望の物語です。共に賛美を続けながら、キリストにある希望を歌を通して覚えましょう。

Song 「There is a Hope / 希望」

創世記の学びを終えるにあたり、最後に見ていただきたいテーマは、この希望を与える神の主権と救いの提供です。創世記は、アブラハムの家族、特にその子孫であるイエス・キリストを通して神が世界に与えられる救いと贖いの物語のはじまりです。しかも創世記はこの救いにどうすれば与ることができるのかも示しています。救いが与えられていてもそれを受け取る方法を知らなければ意味が無いのです。神が与えてくださる救いとは、私たちの罪を単に見過ごすことではありません。私たちの罪は問題であることに変わりないのです。神は聖なる方ですから罪を罰せずにはおられません。そうでなければ創世記から始まる神の救いのご計画は必要ないのです。私たちの罪は義なる神から赦されることを阻みます。ですが、アブラハムと彼に続く家族の人生に、私たちは赦しの救いの希望を見出すことができます。アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフは罪人でありながら神から明らかに祝福されたのを見ました。例えばアブラハムについては創世記24:1で「アブラハムは年を重ねて、老人になっていた。主は、あらゆる面でアブラハムを祝福しておられた。」とあります。イサクも創世記26:12に「イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。主は彼を祝福された。」とあるように同じく祝福されました。アブラハムの孫であるヤコブも創世記35:9に「ヤコブがパダン・アラムから帰って来たとき、神は再び彼に現れ、彼を祝福された。」とあるように同じ祝福を得ました。そして、イエスの型であったヨセフも同じく神に祝福されました。創世記39:2-3には「2.主がヨセフとともにおられたので、彼は成功する者となり、そのエジプト人の主人の家に住んだ。3.彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを彼に成功させてくださるのを見た。」とあります。創世記の最初から、彼らが私たちと同じく、またアダムとエバと同じく罪人であるにも関わらず、何度も祝福されるのを見してきました。彼らはどのように救いを受けたのでしょうか。聖書は私たち皆が罪のため神と神の祝福なしには死の罰を受けるべきものであるとありますが、彼らは同じ状態にあったのにどのようにして神の祝福を受ける者となったのでしょうか。

答えは創世記の中でも重要な一節である創世記15:6にあります。「アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。」神はアブラハムの信仰をご覧になり、その信仰に基づいて彼を義とされました。つまり罪のない者とされたのです。一たび罪が義に置き換えられると、私たちは創造主であられる神との祝福の関係を回復することができるようになるのです。アブラハムは何を信じていたのでしょうか。神が義をもって報いて下さるために何を信じたのでしょうか。そしてその信仰をどのように示したのでしょうか。アブラハムがその人生において彼の信仰を示した重要な出来事の中に、それらの疑問に対する答えがあります。ヘブル人への手紙11章では、信仰の主な例としてアブラハム

を取り挙げてその出来事に触れています。ヘブル人への手紙 11:17 には「信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。」とあります。アブラハムが一人息子のイサクを捧げた話は、聖書の中でも究極の信仰の例でしょう。創世記 22 章でアブラハムは、彼が 100 年待って授かった一人息子をいけにえとして捧げるよう神に言われました。息子をモリヤの山に連れていき、祭壇の上に置き、刀をとって息子を屠ろうとした彼の行為は、神の言葉に対する絶対的な服従を示していました。神の言葉に従順であったことで、神への信仰と信頼を示したのです。そして神は息子イサクの代わりに、いけにえの雄羊をアブラハムにお与えになりました。この行為は、私たちの信仰の対象であり、私たちが受けるべき罰を代わりに受けて下さる完全ないけにえを指し示しています。ですが、アブラハムの信仰も、イサクの信仰も、ヤコブの信仰も、ヨセフの信仰も、彼らの意思によるものではありませんでした。このことは、私たちの信仰が私たちの側の何らかの働きに神が報いて下さるのだと教えている訳ではありません。私たちにできる事は何もないのです。エペソ人への手紙 2:8-9 は信仰が神からの賜物であると教えています。「8.この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9.行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」

この事実こそ、聖書の冒頭で創世記が私たちに示している究極のビジョンを指し示しています。それは被造物の主権者であり、全てを完全に支配される神の姿です。神の摂理と御心によらない物は何一つないのです。このことは神が罪をも創造されたという意味ではありません。ただ、人が罪を犯す選択をしたとしても神が主権者であることに変わりがないということです。それさえも神を驚かすことはありません。最初人間が創造される前に、神はすでに私たちの贖いと救いのために創世記で展開する事柄をご計画されておりました。エペソ人への手紙 1:4-5 は、そのご計画が天地創造の前に始まっていたことを明確に示しています。「4.すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。5. 神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定められました。」神はアダムとエバが罪を犯すこと、私たちが皆罪を犯すことをご存知でした。私たちが神を拒絶し、神に反抗することもご存知でした。それでも私たちが造って下さいました。ですから神は、ご自分の民としてアダムとエバが創造されたときの本来あるべき姿に回復する者たちを選ぶご計画を持っておられました。

その計画にはアブラハムという男の家族を通して、イエス・キリストという救い主を世に送ることが含まれておりました。彼には約束された息子のイサクが与えられ、彼は救いに必要な犠牲を私たちに示しました。イサクの息子ヤコブは欺く者として生まれましたが、神に贖われ後にイスラエル国となる息子たちの父とされました。イスラエルの民はイスラエルの息子ヨセフがいなければ、飢饉で全滅してもおかしくありませんでした。そしてヨセフは家族の救済者となり、私たちにイエス・キリストを示しました。「初めに、神が」というはじまりの言葉から、創世記最後の章である 50:20 に「あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。」とあるヨセフの言葉に至るまで、私たちは神を見ることができます。この書は被造物に対して神を明らかにする書物のはじまりです。そしてすべての物語、すべての人、すべての出来事、すべての歴史が、私たちの神を見て、知ることを可能にします。私たちの主権者なる神、義なる、真の、聖なる神、また愛の神です。今日の聖書箇所、また礼拝の締めくくりに「Behold our God 見よ、われらの神を」をご一緒に賛美しましょう。祈ります。

Song 「Behold our God / 見よ、われらの神を」

Genesis – The beginning of everything

Today, we are going walk through the book of Genesis where we have spent the last two and a half years of sermons with a couple of breaks. The message of Genesis is a message of beginnings. The beginning of everything. It's the beginning of the world, of sin and most importantly, God's plan for salvation. It sets the foundation for everything else God reveals to us in His Word. Most importantly, it establishes who God is and declares his love for his people and desire to redeem us and restore us to himself. So, as with all of Scripture, the end result of meeting God in the pages of Genesis is that it leads us to worship. And while the name of Jesus is never written in this opening book of the Bible, the message of Jesus could not be clearer. Because in this book of Genesis, we see pictures of sacrifice, messages of forgiveness and God's heart of love for his people that will result in Christ coming to earth. This is the message we open our musical worship with today as we stand and sing together, Endless Praises.

Song

Endless Praises (Key: A)

Deacon Prayer

Natsuko Ishibashi

Message Wrap-Up sermon of Genesis -

Ben Howard / Fumiko Usami

Genesis begins at the beginning of this world. The very first verse of Genesis and the entire Bible, **Genesis 1:1** tells us that **"In the beginning God created the Heavens and the earth."** From that declaration of God creating, we then looked at an unfolding of how that creation took place after the initial creative act that seems to have formed the canvas on which the world is then built. We see God creating all life on that canvas in the course of the first week. This is the beginning of time that now shapes all of our lives. And even more important, he gives us the pattern for how we should spend the days of our lives here on earth. God worked for 6 days at His creation and then rested for 1. This pattern of work and rest is later commanded as one of the core 10 commandments of God's Law given to his people in **Exodus 20:8-10a** **8 "Remember the Sabbath day, to keep it holy. 9 Six days you shall labor, and do all your work, 10 but the seventh day is a Sabbath to the Lord your God.**

The primary focal point of the creation narrative is the creation of humans on day six. **Genesis 1:27** says, **So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.** This creation of the first two humans established at the very beginning of time before humanity was corrupted by sin certain foundational aspects of our existence. First, this established the institution of marriage. **Genesis 2:23-24** says, **23 Then the man said, "This at last is bone of my bones and flesh of my flesh; she shall be called Woman, because she was taken out of Man." 24 Therefore a man shall leave his father and his mother and hold fast to his wife, and they shall become one flesh.** So the idea of marriage and families being the foundation of human society is not a creation of humans, but of God himself. Secondly, the creation of Adam and Eve declare foundational truths about gender and sexuality, which are extremely relevant even today. The Bible and therefore God as the ultimate author of the Bible declares that it was God who established that we exist in only two genders, male and female, and both of those genders reflect the image of God himself. This is key to understanding ourselves. Originally, we were created to be perfect image bearers of God. We were the highest reflection of himself, although we owe our very existence to him, and could not exist apart from him.

Our creation by a Sovereign God means that we are not the highest form of existence in this universe. We are not sovereign unto ourselves, and we owe something to the one who created us. **Isaiah 43:6-7** puts it like this: **...bring my sons from afar and my daughters from the end of the earth, 7 everyone who is called by my name, whom I created for my glory, whom I formed and made."** We were created not for our own glory, but for God's, therefore our lives should reflect his glory and we owe him our worship. Of course, the first humans sinned, they failed to obey God and therefore to glorify God. And even in God's response to that sin, we see that

being a created being by a Sovereign God means that there is accountability for our actions. The first part of Genesis wraps up with two events that show humanity's accountability before a holy God. **Genesis 7:23-24 describes the effects of a worldwide flood that God sent on the earth. 23 He blotted out every living thing that was on the face of the ground, man and animals and creeping things and birds of the heavens. They were blotted out from the earth. Only Noah was left, and those who were with him in the ark. 24 And the waters prevailed on the earth 150 days.**

Why was this flood brought on the earth to destroy everyone except Noah and his family? **Genesis 6:5-7 tells us. 5 The Lord saw that the wickedness of man was great in the earth, and that every intention of the thoughts of his heart was only evil continually. 6 And the Lord regretted that he had made man on the earth, and it grieved him to his heart. 7 So the Lord said, "I will blot out man whom I have created from the face of the land, man and animals and creeping things and birds of the heavens, for I am sorry that I have made them."** This of course did not end the sin. This first section of Genesis ends in Genesis 11 with the Tower of Babel and human pride that thinks it can reach God. God shows that human rebellion is nothing before his Sovereignty, and he forces them to obey his command to inhabit the whole earth by confusing their language. So, Creation means two key facts about our lives are true. We were created to be worshippers of God, to bring him glory. And we are accountable to a holy God. Our response to that truth should be to join creation in worshipping our creator. Let's stand and join our voices in that worship of our Creator with all Creatures of our God and King.

Song **All Creatures of our God and King (Key C)**

Message **Wrap-Up sermon of Genesis - *Ben Howard / Fumiko Usami***

As I ended the first part with, the book of Genesis not only shows the beginning of humanity, but also the beginning of humanity's foundational problem – sin. We are introduced to the concept of temptation that is common to our experience as humans, and the source of that temptation, Satan. God had given Adam and Eve these first humans one rule – do not eat from the tree of knowledge of Good and Evil. Then Satan in the form of a Serpent tempted Eve with the same basic temptation that all temptation to sin really takes. In **Genesis 3:1 the serpent said to Eve, "Did God actually say, 'You shall not eat of any tree in the garden'?"** He caused her to question the truth of God's Word. In **verse 4 and 5 in Genesis 3**, he tells Eve, contrary to what God had said, **"You will not surely die. 5 For God knows that when you eat of it your eyes will be opened, and you will be like God, knowing good and evil."** She and Adam both give into the temptation and sin. Adam as the representative human from whom every human being will be born passes along a sinful nature to all of humanity because of that sin. **Romans 5:12 makes this very clear. 12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned—**

So, because of sin, Genesis shows us the beginning of death that also defines our human experience. But there is another line in God's story that begins unfolding in Genesis. It is a story of hope, based on redemption. This thread of redemption is really what unfolds throughout the rest of scripture. The entire metanarrative or storyline of the Bible is Creation Fall Redemption and Restoration. And Genesis fully contains the first two, the beginning of the third and points to Restoration as well that is only fully seen in the book of Revelation. Right after humans sinned, God confronts their sin with punishment, but in handing out punishment, he provides the first sign of hope for His sinful creatures. In **Genesis 3:15**, in promising to punish the serpent, Satan, God gives us these words of hope. **I will put enmity between you and the woman, and between your offspring and her offspring; he shall bruise your head, and you shall bruise his heel."** God would send a Snake Crusher, someone who would bless mankind by defeating the one who was instrumental in our fall into sin in the first place. There is a significant piece of information given to us in the initial prophecy of this Savior, this Snake Crusher. It is this – that

the one who would provide the Salvation would come through the line of the woman Eve who Satan deceived. He would be a human being who would provide this salvation.

Starting with Genesis 12, we are introduced to the man who God chose to use to bring this Savior, the snake crusher into the world. Abraham or Abram as he is known at first receives a one-sided Covenant from God that we first see in **Genesis 12:1-3. Now the Lord said to Abram, “Go from your country and your kindred and your father's house to the land that I will show you. 2 And I will make of you a great nation, and I will bless you and make your name great, so that you will be a blessing. 3 I will bless those who bless you, and him who dishonors you I will curse, and in you all the families of the earth shall be blessed.”** This three part promise of land, nation and blessing is passed on to his son, Isaac and grandson Jacob as the family that eventually brings Jesus into the world grows. And each generation of this family continues to hold onto the promise that God will use them to bless the whole world. That promise of blessing that will come from their family line continues to be a source of hope not only to the family, but to a world that gets progressively more deeply trapped in sin as history progresses. We see this progression of sin from Adam and Eve's own son who committed the first murder, to Jacob's sons who sold their brother Joseph into slavery, committed mass murder, immorality and many other sins. And in the middle of a storyline that continues to demonstrate what sinful creatures human beings are, God is writing a story of redemption, of hope through this man Abraham and his family. It is a story of Hope that is still available for us today through Abraham's descendant Jesus Christ. As we continue our worship together, Let's remind ourselves in song of this hope we have in Christ.

Song

There is a Hope (Key: A)

Message

Wrap-Up sermon of Genesis-

Ben Howard / Fumiko Usami

The final theme that I want us to see as we wrap up Genesis is God's sovereignty and offer of salvation that provides this hope. Genesis opens up this story of salvation and redemption that God is providing the world through the family of Abraham, specifically his descendant, Jesus Christ. But Genesis also shows us how to access this salvation. You see there can be the offer of salvation, but without knowing how to access it, it is useless. God's offer of salvation is not just overlooking our sin. Our sin is still THE problem. God is holy and must punish sin otherwise there is no need for the plan for salvation that God is unfolding beginning in Genesis. Our sin keeps us from being forgiven by a righteous God, but then we see hope of salvation of forgiveness in the life of Abraham and members of his family who come after him. We see Abraham, Isaac, Jacob and Joseph who clearly are blessed by God in spite of their status of sinner. We see blessing on Abraham in places like **Genesis 24:1 Now Abraham was old, well advanced in years. And the LORD had blessed Abraham in all things.** Isaac experiences the same blessing in **Genesis 26:12 And Isaac sowed in that land and reaped in the same year a hundredfold. The LORD blessed him...** Abraham's grandson, Jacob receives the same blessing, **Genesis 35:9 God appeared to Jacob again, when he came from Paddan-aram, and blessed him.** And finally, Joseph, who pictured Jesus himself was also blessed by God. **Genesis 39:2-3 The LORD was with Joseph, and he became a successful man, and he was in the house of his Egyptian master. 3His master saw that the LORD was with him and that the LORD caused all that he did to succeed in his hands.** Over and over we see these men blessed in spite of the fact that we know from the first part of Genesis that they are sinners just like us and just like Adam and Eve. How did they receive this salvation? How did they move from a place of being under the condemnation of sin, the same death penalty apart from God and his blessing that we have already seen that the Bible says all of us are under to a place of God's blessing.

The answer to that lies in the key verse in all of Genesis, **Genesis 15:6. Abraham believed God and it was credited to him as righteousness.** God saw Abraham's faith and based on that faith God counted him as righteous or being without sin. Once sin is replaced with righteousness, then we are able to be restored to a relationship of blessing with God our Creator. What was it

that Abraham had faith in? What was he believing that God rewarded with righteousness? And how did he demonstrate that faith? All of these questions are answered in what is the primary event in Abraham's life that demonstrated his faith. Hebrews 11 points out that event when lifting up Abraham as a key example of faith. **Hebrews 11:17 says, 17 By faith Abraham, when he was tested, offered up Isaac, and he who had received the promises was in the act of offering up his only son**...The account of Abraham sacrificing his only son Isaac is probably the supreme demonstration of faith we have in the Bible. In Genesis 22, Abraham was told by God to take his only son who he had waited 100 years for and to offer him as a sacrifice. His act of obedience by taking his son to the Mountain of Moriah and placing him on an altar and nearly plunging a knife into him showed absolute obedience to God's Word. It was his obedience to God's Word that demonstrated his faith and trust in God. Then God provides a sacrificial ram for Abraham to offer instead of his son, Isaac. This act points us to the object of our faith, a perfect sacrifice who takes our place of rightful punishment. But Abraham's faith, Isaac's faith, Jacob's faith and Joseph's faith was not an act of their will. This is not teaching us that our faith is some sort of work on our part that God rewards. It is based on nothing we can do. **Ephesians 2:8-9 tells us faith is a gift from God. 8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.**

That fact in itself points us to the last and ultimate vision that Genesis unfolds for us at the beginning of the Bible. It is a picture of a God who is sovereign over his creation and has everything under his complete and full control. Nothing happens outside of his Providence or will. This does not mean that God is the author of sin, but it does make him sovereign over man's choice to sin. Even that was not a surprise to God. And before the first humans were ever created, God had already established this plan that he is unfolding here in Genesis for our redemption and salvation. **Ephesians 1:4-5 tells us plainly that this plan began before Creation. ...even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love 5 he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will**... God knew Adam and Eve would sin and we would all sin, and he made us anyway, even though we would reject and rebel against him. So from the very beginning he had a plan to chose some who would be his own people, restored to himself as Adam and Eve were originally created to be.

That plan would involve sending a savior, Jesus Christ through the family of a man named Abraham...who had a promised son, Isaac who showed us the sacrifice required for salvation...who had a son Jacob who was born a Deceiver, but God redeemed to become the father of sons who would become Israel...who all could have been wiped out through famine if had not been for Israel's son, Joseph, who became the savior for his family and pictured our Savior Jesus Christ. From the first words of **"In the beginning, God..."** to the words of Joseph in the last chapter **Genesis 50:20 "As for you, you meant evil against me, but God meant it for good..."**, we see our God. This book is the beginning of the book that reveals God to his Creation. And every story, every person, every event, all the history should cause us to see and know our God. Our Sovereign, Righteous, faithful, holy and loving God. So, we close this book and our worship today with these words, Behold our God. Let's pray.

Song

Behold our God (Key: A)